

県立高等学校の再編整備

1 粉河高等学校 定時制課程について

令和2年度の生徒募集は行い、令和3年度以降は募集停止とします。
(令和5年度末に課程を閉じます。)

2 理由等

粉河高等学校定時制課程は、地域の勤労青少年に対する高校教育の機会付与のため、昭和23年10月、夜間部普通科の設置に始まり、これまで約1300名の卒業生を送り出してきました。しかし、勤労青少年の減少や少子化の進行により、定時制課程を志望する生徒は大きく減少し、40名の募集定員に対する平成30年度及び31年度の入学者数は、それぞれ5人、2人という状況になっています。

和歌山県の定時制教育については、平成17年5月に策定した「県立高等学校再編整備計画」において、柔軟な教育システムをもった定時制の拠点校づくりを進めることとし、平成27年4月、紀北地域における定時制・通信制教育の拠点校として、伊都中央高等学校を開校し、教育の充実を図ってまいりました。

一方、平成28年4月に定めた「県立高等学校再編整備基本方針」では、「定時制高等学校の入学生徒数について、募集定員の20%未満の状態が2か年連続している場合は、定時制高等学校の役割や通学距離を含めた地理的環境、地域の状況等も勘案しながら、統廃合を検討」することとしています。

今般、粉河高等学校定時制の入学者の状況と紀北地域における定時制教育の在り方や、今後の中学校卒業予定者の更なる減少等に鑑み、慎重な検討を重ねた結果、令和3年度以降生徒の募集を停止することとしました。